

アンケート調査結果（町民）

I アンケート調査実施概要

■ 調査目的

町民(既婚者及び未婚者)に対し、結婚・出産・子育てに関する意識や希望、施策に対する満足度・重要度等を調査し、総合戦略策定に活用するもの。

■ 調査概要

調査対象	満18～49歳の町民。
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
標本数	300
回収数	151
調査方法	郵送による調査票の発送・回収
調査期間	2019年11月26日(火)～2019年12月9日(月)

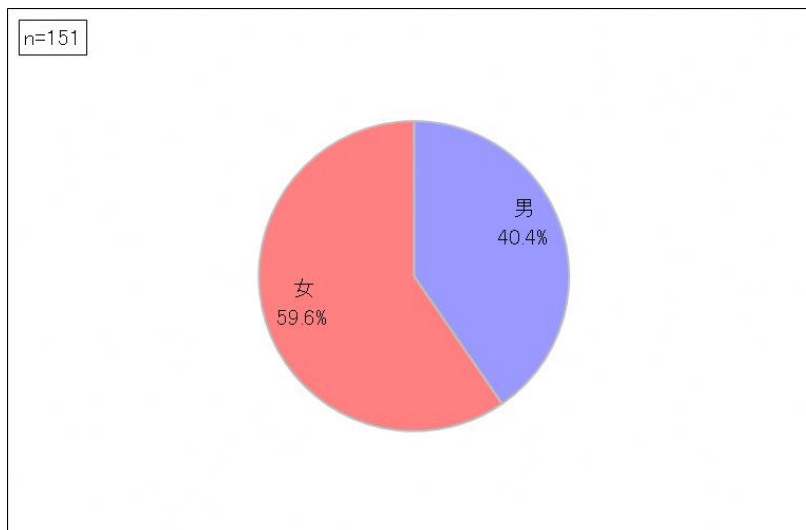
■ 本報告書中の表記について

(SA) : 単純回答、(MA) : 複数回答、(n) : 回答数

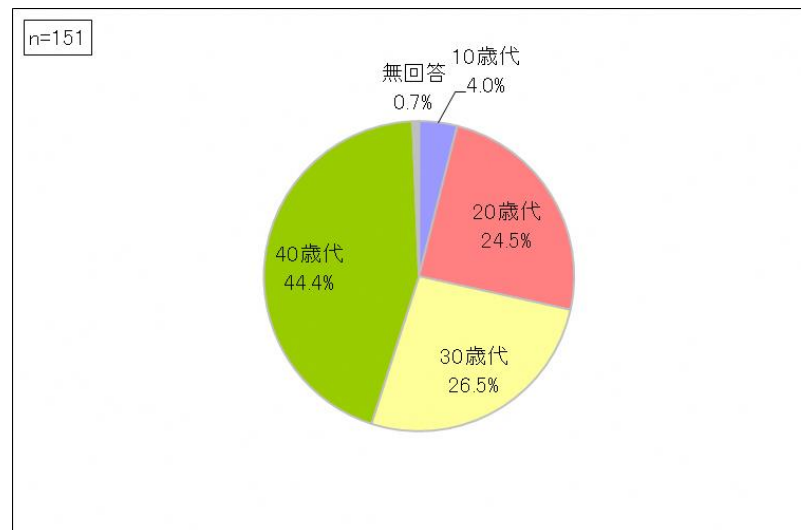
I アンケート調査実施概要

■ 回答者概要

問1-1：あなたの性別はどちらですか。
(SA)



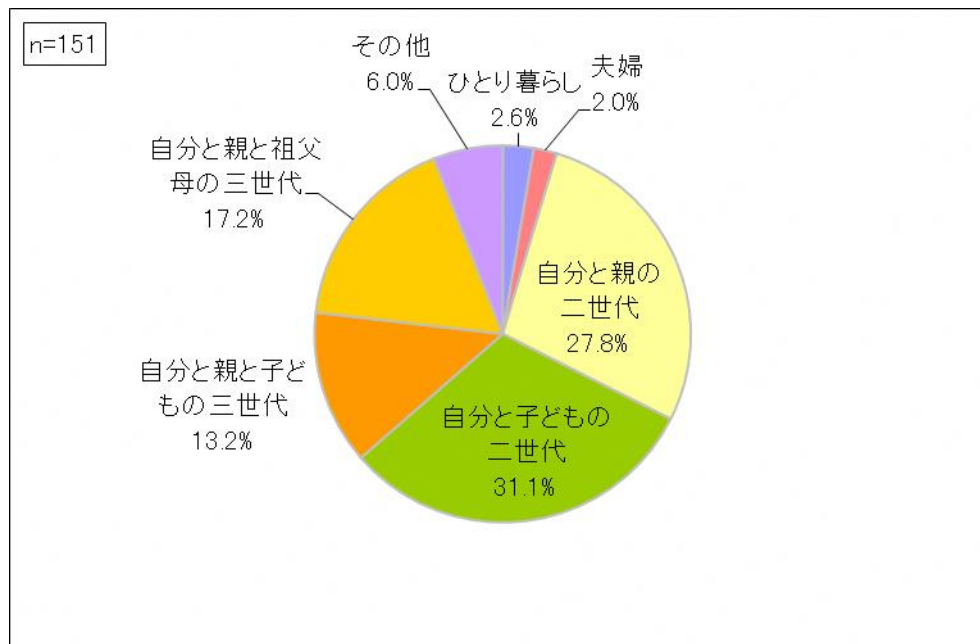
問1-2：あなたの年齢をお答えください。
(SA)



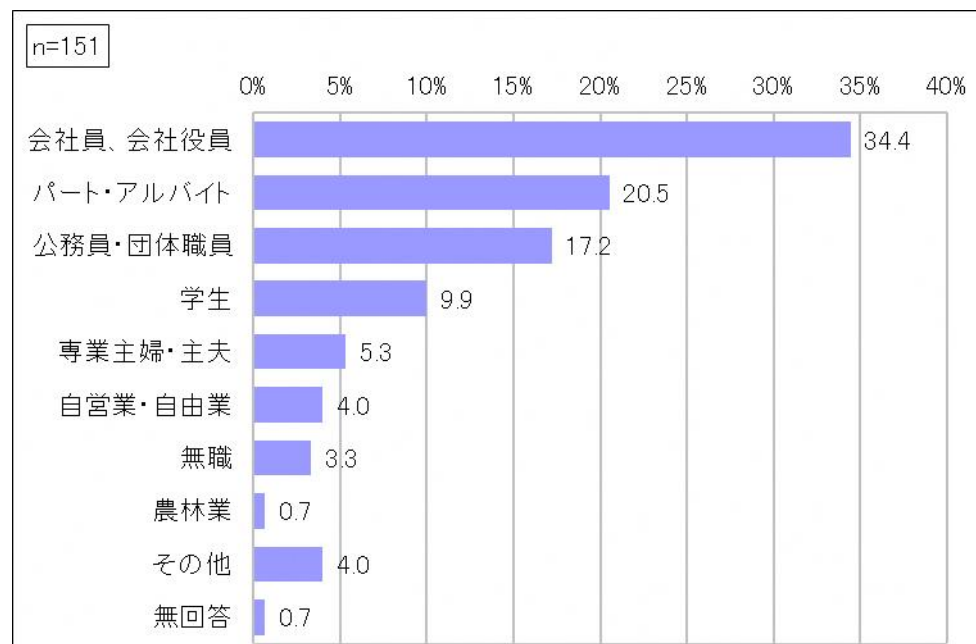
I アンケート調査実施概要

■ 回答者概要

問1-3：あなたの世帯の構成をお答えください。
(SA)



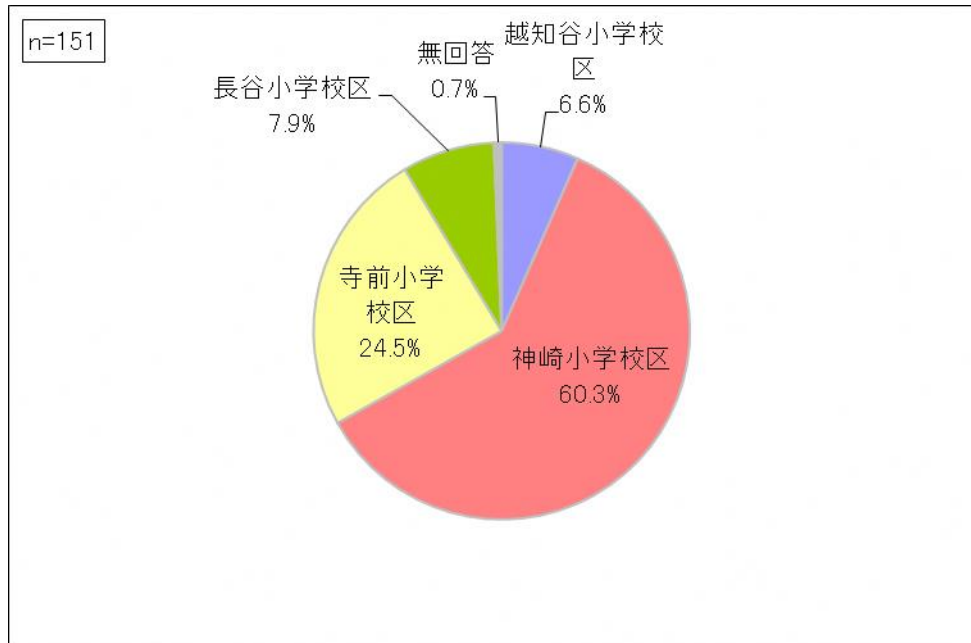
問1-4：あなたの現在の職業をお答えください。
(SA)



I アンケート調査実施概要

■ 回答者概要

問1-5：現在の居住区について、お答えください。
(SA)

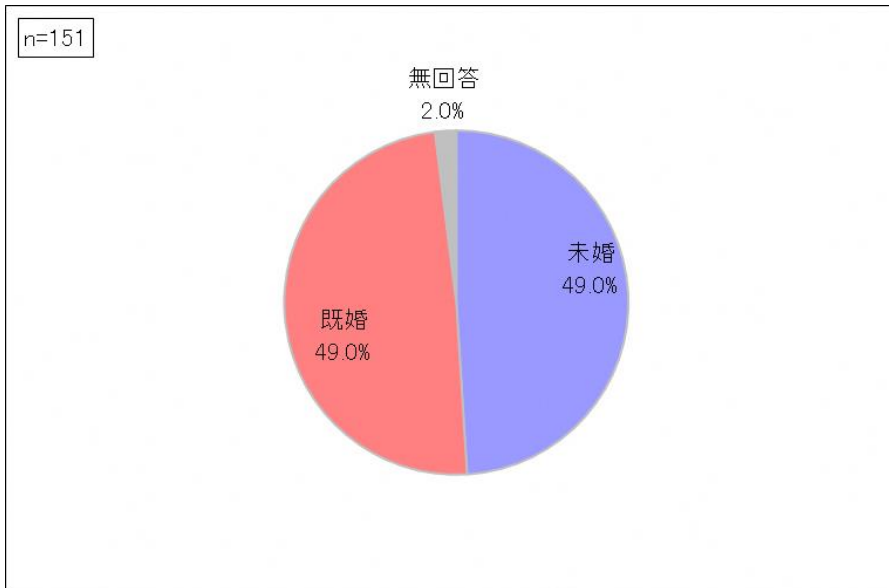


Ⅱ 調査結果

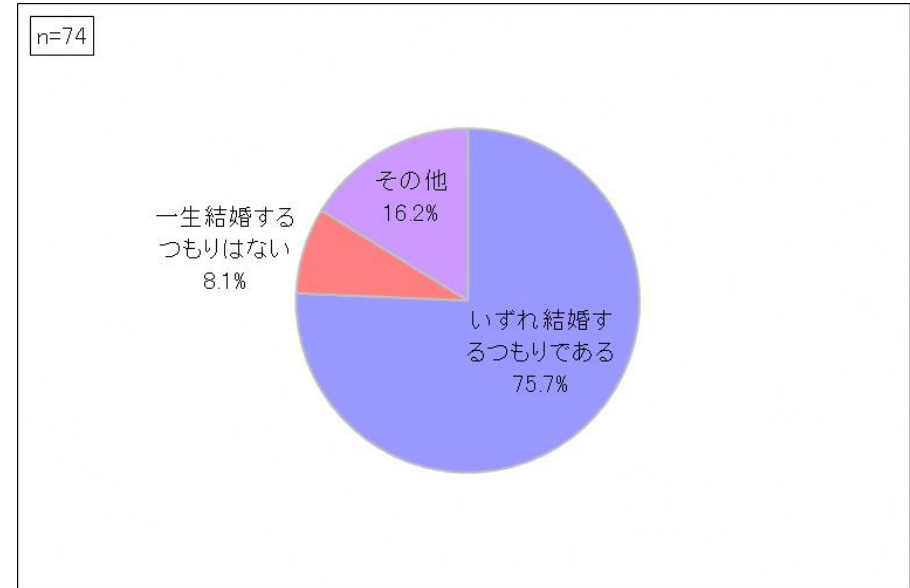
結婚・出産・子育てに対する意識 について

現在未婚の方の多くが「いずれ結婚するつもりである」と回答していますが、「一生結婚するつもりはない」と回答した方が8.1%いました。

問2-1：ご結婚はされていますか。
(SA)



問2-2：【問2-1で「1.未婚」と回答の方】
将来は、結婚したいと考えていますか。（SA）

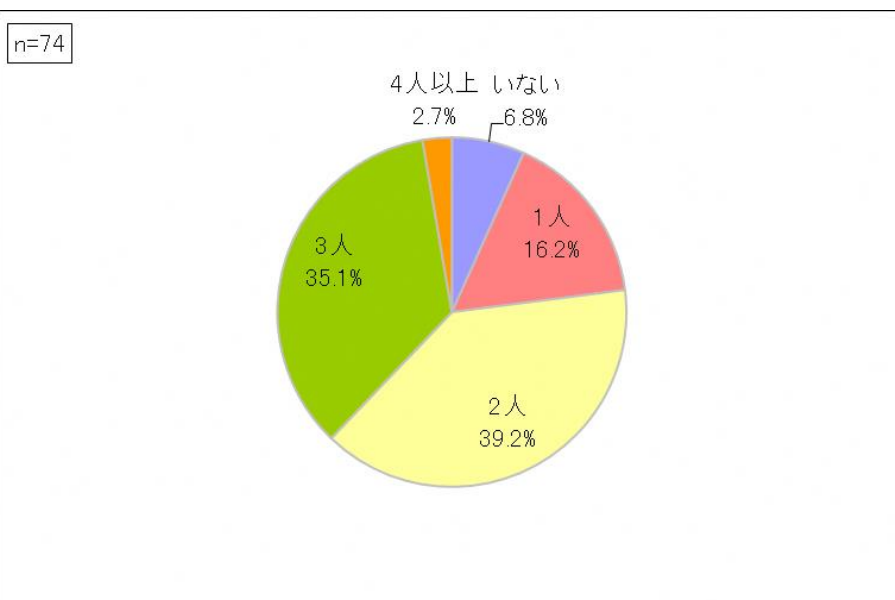


Ⅱ 調査結果

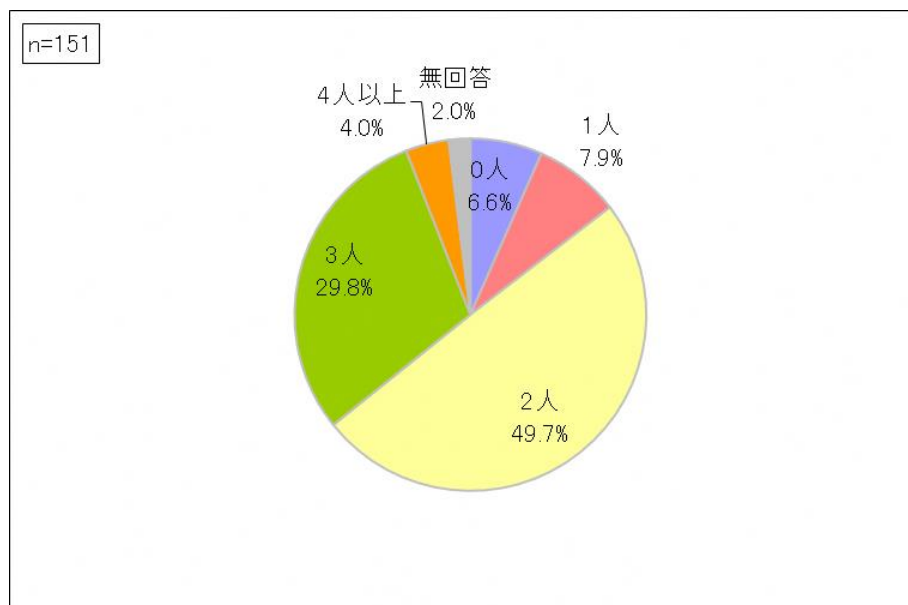
結婚・出産・子育てに対する意識 について

- 子どもの数、希望する子どもの総数共に2人が最も多く、次いで3人、1人の順となっています。
- 希望する子供の数において、6.6%が0人と回答しています。

問2-3：【問2-1で「2.既婚」と回答の方】
お子様の人数をお答えください。（SA）



問2-4：未婚・既婚等にかかわらず将来において、希望される子どもの総数は、何人ですか。（SA）

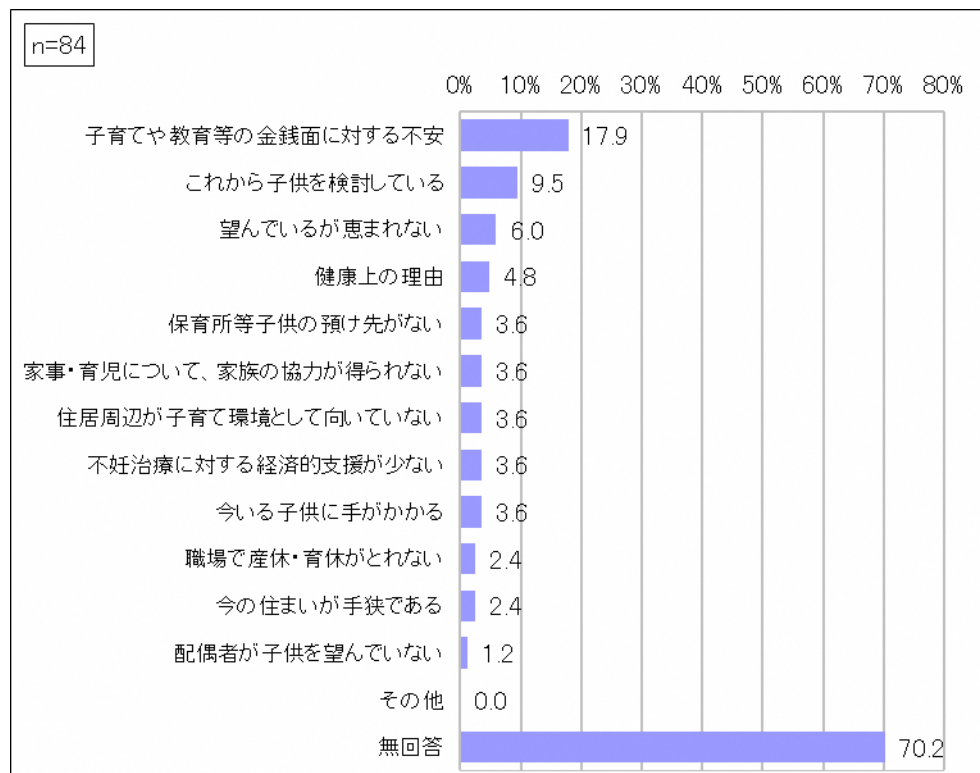


Ⅱ 調査結果

結婚・出産・子育てに対する意識 について

- 理想より子供の数が少ない理由として、「子育てや教育等の金銭面に対する不安」が最も多く17.9%でした。
- また14.4%が医学的な支援が必要と考えられる回答（「望んでいるが恵まれない」、「健康上の理由」、「不妊治療に対する経済的な支援」を合わせ）でした。

問2-5：理想より子供の数が少ない理由として何が挙げられますか。
(MA)

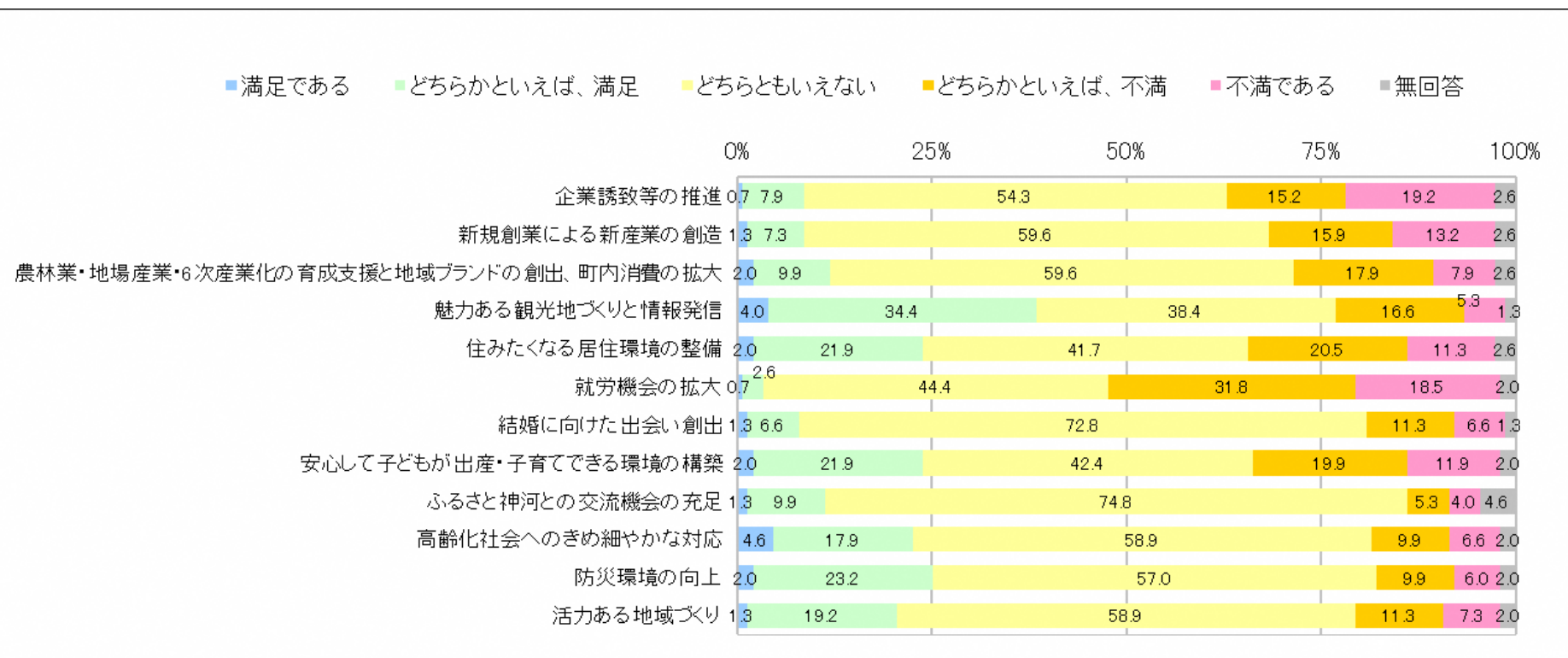


Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 「魅力ある観光地づくりと情報発信」や「防災環境の向上」など、経済的な取組みで満足度が高くなりました。
- 一方、「就労機会の拡大」や「企業誘致等の推進」等で満足度が低くなりました。

問3：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。
総合戦略の各取組みについて、「現在の満足度」を選択してください。（SA）



Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 40歳代や多世代世帯の回答者で比較的不満足の回答者がみられました。
- 一方、単独や夫婦世帯で高くなっています。

問3-A.1：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「現在の満足度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／企業誘致等の推進（SA）

クロス分析結果

	回答数	満足である	どちらかといえば、満足	どちらともいえない	どちらかといえば、不満	不満である	無回答
全体	151	0.7	7.9	54.3	15.2	19.2	2.6
男	61	0.0	4.9	49.2	18.0	24.6	3.3
女	90	1.1	10.0	57.8	13.3	15.6	2.2
10歳代	6	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0
20歳代	37	0.0	5.4	70.3	13.5	10.8	0.0
30歳代	40	2.5	5.0	62.5	15.0	10.0	5.0
40歳代	67	0.0	10.4	37.3	17.9	31.3	3.0
ひとり暮らし	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
夫婦	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
自分と親の二世帯	42	0.0	7.1	61.9	14.3	14.3	2.4
自分と子どもの二世帯	47	0.0	6.4	38.3	21.3	31.9	2.1
自分と親と子どもの三世帯	20	5.0	5.0	55.0	15.0	20.0	0.0
自分と親と祖父母の三世帯	26	0.0	0.0	73.1	11.5	11.5	3.8
その他	9	0.0	11.1	66.7	11.1	11.1	0.0

Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 10歳代を除いた世代で、不満足が高くなっています。
- また、夫婦世帯で不満足が高くなっています。

問3-A.2：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「現在の満足度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／新規創業による新産業の創造（SA）

クロス分析結果

	回答数	満足である	どちらかといえば、満足	どちらともいえない	どちらかといえば、不満	不満である	無回答
全体	151	1.3	7.3	59.6	15.9	13.2	2.6
男	61	1.6	4.9	52.5	18.0	18.0	4.9
女	90	1.1	8.9	64.4	14.4	10.0	1.1
10歳代	6	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0
20歳代	37	0.0	10.8	59.5	21.6	8.1	0.0
30歳代	40	2.5	7.5	65.0	7.5	12.5	5.0
40歳代	67	1.5	4.5	53.7	19.4	17.9	3.0
ひとり暮らし	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
夫婦	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
自分と親の二世帯	42	0.0	7.1	54.8	21.4	14.3	2.4
自分と子どもの二世帯	47	0.0	4.3	61.7	10.6	21.3	2.1
自分と親と子どもの三世帯	20	10.0	0.0	65.0	20.0	5.0	0.0
自分と親と祖父母の三世帯	26	0.0	11.5	61.5	15.4	7.7	3.8
その他	9	0.0	11.1	77.8	0.0	11.1	0.0

Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 年齢が上がるほど不満足度が高まりますが、各年齢で満足度を持つ回答者が一定数います。

問3-A.3：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「現在の満足度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／農林業・地場産業・6次産業化の育成支援と地域ブランドの創出、町内消費の拡大（SA）

クロス分析結果

	回答数	満足である	どちらかといえば、満足	どちらともいえない	どちらかといえば、不満	不満である	無回答
全体	151	2.0	9.9	59.6	17.9	7.9	2.6
男	61	1.6	4.9	62.3	16.4	11.5	3.3
女	90	2.2	13.3	57.8	18.9	5.6	2.2
10歳代	6	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0
20歳代	37	0.0	16.2	64.9	13.5	5.4	0.0
30歳代	40	5.0	5.0	62.5	15.0	7.5	5.0
40歳代	67	1.5	9.0	52.2	23.9	10.4	3.0
ひとり暮らし	4	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0
夫婦	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
自分と親の二世帯	42	2.4	7.1	64.3	19.0	4.8	2.4
自分と子どもの二世帯	47	0.0	8.5	48.9	25.5	12.8	4.3
自分と親と子どもの三世帯	20	5.0	5.0	65.0	20.0	5.0	0.0
自分と親と祖父母の三世帯	26	0.0	19.2	69.2	3.8	7.7	0.0
その他	9	0.0	11.1	77.8	0.0	11.1	0.0

Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 各年齢で満足度を持つ割合が高く、20歳代以降、年齢が上がるほど不満足が低くなっています。

問3-A.4：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「現在の満足度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／魅力ある観光地づくりと情報発信（SA）

クロス分析結果

	回答数	満足である	どちらかといえば、満足	どちらともいえない	どちらかといえば、不満	不満である	無回答
全体	151	4.0	34.4	38.4	16.6	5.3	1.3
男	61	3.3	21.3	49.2	18.0	6.6	1.6
女	90	4.4	43.3	31.1	15.6	4.4	1.1
10歳代	6	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0
20歳代	37	2.7	32.4	35.1	24.3	5.4	0.0
30歳代	40	7.5	30.0	37.5	20.0	2.5	2.5
40歳代	67	3.0	38.8	38.8	10.4	7.5	1.5
ひとり暮らし	4	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0
夫婦	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
自分と親の二世帯	42	2.4	23.8	38.1	31.0	2.4	2.4
自分と子どもの二世帯	47	0.0	51.1	25.5	14.9	8.5	0.0
自分と親と子どもの三世帯	20	10.0	30.0	45.0	10.0	5.0	0.0
自分と親と祖父母の三世帯	26	3.8	26.9	57.7	7.7	3.8	0.0
その他	9	11.1	33.3	44.4	0.0	11.1	0.0

Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 20～40歳代は不満足が上回っていますが、10歳代では満足が上回りました。

問3-A.5：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「現在の満足度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／住みたくなる居住環境の整備（SA）

クロス分析結果

	回答数	満足である	どちらかといえば、満足	どちらともいえない	どちらかといえば、不満	不満である	無回答
全体	151	2.0	21.9	41.7	20.5	11.3	2.6
男	61	1.6	11.5	50.8	21.3	11.5	3.3
女	90	2.2	28.9	35.6	20.0	11.1	2.2
10歳代	6	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0
20歳代	37	0.0	13.5	48.6	27.0	10.8	0.0
30歳代	40	2.5	22.5	35.0	20.0	12.5	7.5
40歳代	67	3.0	25.4	40.3	17.9	11.9	1.5
ひとり暮らし	4	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0
夫婦	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
自分と親の二世帯	42	0.0	11.9	45.2	28.6	11.9	2.4
自分と子どもの二世帯	47	2.1	36.2	25.5	14.9	19.1	2.1
自分と親と子どもの三世帯	20	10.0	25.0	40.0	25.0	0.0	0.0
自分と親と祖父母の三世帯	26	0.0	11.5	65.4	11.5	7.7	3.8
その他	9	0.0	11.1	44.4	33.3	11.1	0.0

Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 各年齢層で不満足が高くなっています。

問3-A.6：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「現在の満足度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／就労機会の拡大（SA）

クロス分析結果

	回答数	満足である	どちらかといえば、満足	どちらともいえない	どちらかといえば、不満	不満である	無回答
全体	151	0.7	2.6	44.4	31.8	18.5	2.0
男	61	0.0	1.6	39.3	31.1	26.2	1.6
女	90	1.1	3.3	47.8	32.2	13.3	2.2
10歳代	6	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0
20歳代	37	0.0	5.4	43.2	29.7	21.6	0.0
30歳代	40	2.5	5.0	45.0	17.5	25.0	5.0
40歳代	67	0.0	0.0	40.3	43.3	14.9	1.5
ひとり暮らし	4	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
夫婦	3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
自分と親の二世帯	42	0.0	0.0	40.5	38.1	19.0	2.4
自分と子どもの二世帯	47	0.0	4.3	38.3	31.9	21.3	4.3
自分と親と子どもの三世帯	20	5.0	5.0	40.0	40.0	10.0	0.0
自分と親と祖父母の三世帯	26	0.0	3.8	61.5	15.4	19.2	0.0
その他	9	0.0	0.0	55.6	22.2	22.2	0.0

Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 各年齢で不満足度が高く、特に20歳代で満足度が高くなっていますが、満足に感じる回答者も各年齢層で一定数いました。

問3-A.8：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「現在の満足度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／安心して子どもが出生・子育てできる環境の構築（SA）

クロス分析結果

	回答数	満足である	どちらかといえば、満足	どちらともいえない	どちらかといえば、不満	不満である	無回答
全体	151	2.0	21.9	42.4	19.9	11.9	2.0
男	61	1.6	16.4	45.9	21.3	11.5	3.3
女	90	2.2	25.6	40.0	18.9	12.2	1.1
10歳代	6	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0
20歳代	37	2.7	18.9	40.5	24.3	13.5	0.0
30歳代	40	5.0	20.0	42.5	12.5	15.0	5.0
40歳代	67	0.0	26.9	40.3	20.9	10.4	1.5

Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 各年齢で満足度が高く、特に10歳代で高くなっています。

問3-A.10：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「現在の満足度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／高齢化社会へのきめ細やかな対応（SA）

クロス分析結果

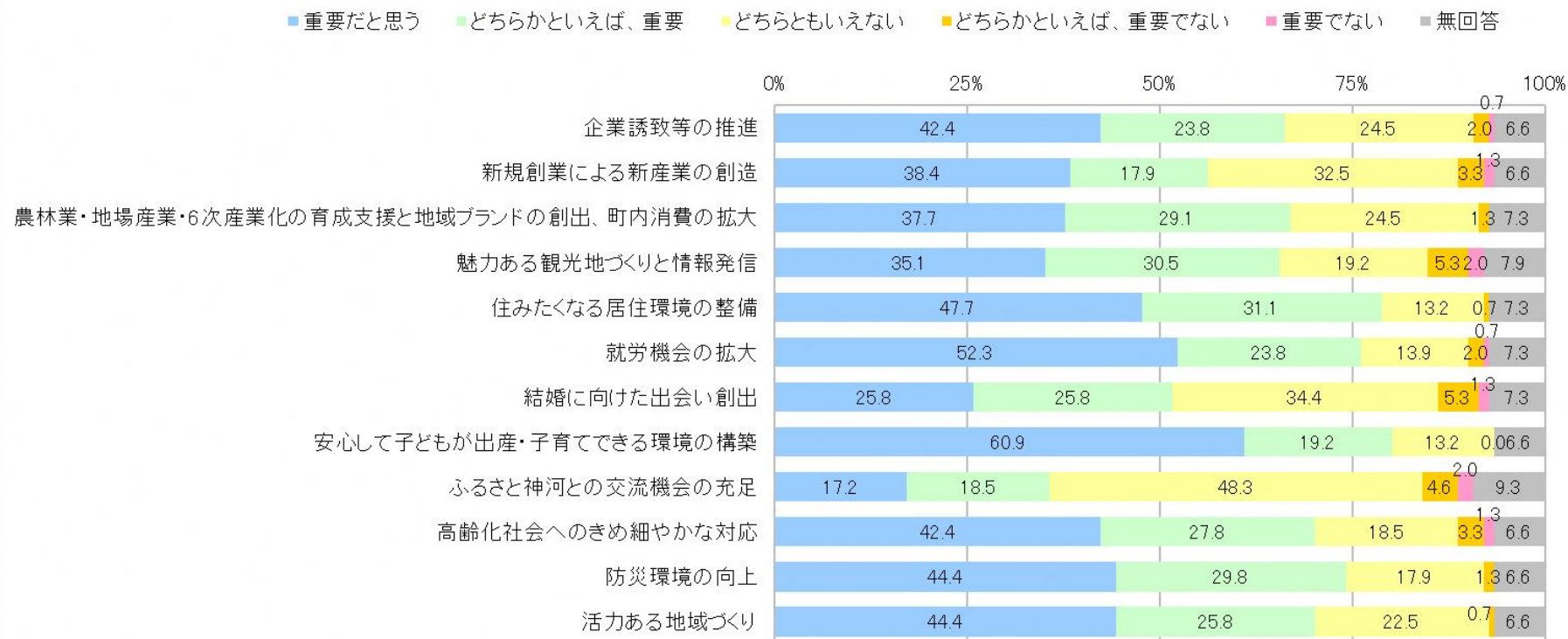
	回答数	満足である	どちらかといえば、満足	どちらともいえない	どちらかといえば、不満	不満である	無回答
全体	151	4.6	17.9	58.9	9.9	6.6	2.0
男	61	6.6	8.2	65.6	6.6	9.8	3.3
女	90	3.3	24.4	54.4	12.2	4.4	1.1
10歳代	6	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
20歳代	37	8.1	13.5	62.2	10.8	5.4	0.0
30歳代	40	7.5	17.5	50.0	10.0	10.0	5.0
40歳代	67	1.5	19.4	61.2	10.4	6.0	1.5
ひとり暮らし	4	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0
夫婦	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
自分と親の二世帯	42	4.8	11.9	57.1	16.7	7.1	2.4
自分と子どもの二世帯	47	6.4	21.3	59.6	8.5	4.3	0.0
自分と親と子どもの三世帯	20	5.0	15.0	60.0	10.0	10.0	0.0
自分と親と祖父母の三世帯	26	0.0	19.2	65.4	3.8	7.7	3.8
その他	9	11.1	22.2	44.4	11.1	11.1	0.0

Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 各取り組みで、重要でない、とする回答割合が多いですが、「魅力ある観光地づくりと情報発信」や「ふるさと神河との交流機会の充足」、「結婚に向けた出会い創出」では、他に比べ重要度が高くなりました。
- 一方、「安心して子どもが産産・子育てできる環境の構築」や「住みたくなる居住環境の整備」、「就労機会の拡大」、「防災環境の向上」で重要度が低くなりました。

問3：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。



Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 各年齢層で重要度が高くなっており、特に40歳代で高くなっています。

問3-B.1：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「今後の重要度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／企業誘致等の推進（SA）

クロス分析結果

	回答数	重要だと思う	どちらかといえば、重要	どちらともいえない	どちらかといえば、重要でない	重要でない	無回答
全体	151	42.4	23.8	24.5	2.0	0.7	6.6
男	61	37.7	27.9	18.0	3.3	1.6	11.5
女	90	45.6	21.1	28.9	1.1	0.0	3.3
10歳代	6	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
20歳代	37	27.0	18.9	48.6	0.0	0.0	5.4
30歳代	40	42.5	25.0	22.5	2.5	0.0	7.5
40歳代	67	52.2	23.9	11.9	3.0	1.5	7.5
ひとり暮らし	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
夫婦	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
自分と親の二世帯	42	40.5	14.3	26.2	4.8	2.4	11.9
自分と子どもの二世帯	47	57.4	25.5	8.5	2.1	0.0	6.4
自分と親と子どもの三世帯	20	35.0	30.0	30.0	0.0	0.0	5.0
自分と親と祖父母の三世帯	26	19.2	30.8	50.0	0.0	0.0	0.0
その他	9	66.7	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0

Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 各年齢層で重要度が高くなっており、特に40歳代で高くなっています。

問3-B.2：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「今後の重要度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／新規創業による新産業の創造（SA）

クロス分析結果

	回答数	重要だと思う	どちらかといえば、重要	どちらともいえない	どちらかといえば、重要でない	重要でない	無回答
全体	151	38.4	17.9	32.5	3.3	1.3	6.6
男	61	36.1	16.4	27.9	4.9	3.3	11.5
女	90	40.0	18.9	35.6	2.2	0.0	3.3
10歳代	6	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	37	40.5	2.7	48.6	2.7	0.0	5.4
30歳代	40	30.0	20.0	32.5	7.5	2.5	7.5
40歳代	67	44.8	22.4	22.4	1.5	1.5	7.5
ひとり暮らし	4	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
夫婦	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
自分と親の二世帯	42	38.1	11.9	31.0	4.8	2.4	11.9
自分と子どもの二世帯	47	51.1	19.1	21.3	2.1	0.0	6.4
自分と親と子どもの三世帯	20	25.0	20.0	40.0	5.0	5.0	5.0
自分と親と祖父母の三世帯	26	26.9	19.2	50.0	3.8	0.0	0.0
その他	9	33.3	11.1	55.6	0.0	0.0	0.0

Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 各年齢層で重要度が高くなっており、特に10歳代では全員が重要と回答しています。

問3-B.3：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「今後の重要度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／農林業・地場産業・6次産業化の育成支援と地域ブランドの創出、町内消費の拡大（SA）

クロス分析結果

	回答数	重要だと思う	どちらかといえば、重要	どちらともいえない	どちらかといえば、重要でない	重要でない	無回答
全体	151	37.7	29.1	24.5	1.3	0.0	7.3
男	61	37.7	23.0	23.0	3.3	0.0	13.1
女	90	37.8	33.3	25.6	0.0	0.0	3.3
10歳代	6	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	37	29.7	24.3	40.5	0.0	0.0	5.4
30歳代	40	37.5	22.5	30.0	0.0	0.0	10.0
40歳代	67	43.3	31.3	14.9	3.0	0.0	7.5
ひとり暮らし	4	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0
夫婦	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
自分と親の二世帯	42	38.1	26.2	21.4	2.4	0.0	11.9
自分と子どもの二世帯	47	48.9	31.9	12.8	0.0	0.0	6.4
自分と親と子どもの三世帯	20	30.0	30.0	35.0	0.0	0.0	5.0
自分と親と祖父母の三世帯	26	30.8	26.9	38.5	0.0	0.0	3.8
その他	9	33.3	22.2	44.4	0.0	0.0	0.0

Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 各年齢層で重要度が高くなっており、特に10歳代では全員が重要と回答していますが、40歳代では重要と考える回答者も一定数いました。

問3-B.4：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「今後の重要度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／魅力ある観光地づくりと情報発信（SA）

クロス分析結果

	回答数	重要だと思う	どちらかといえば、重要	どちらともいえない	どちらかといえば、重要でない	重要でない	無回答
全体	151	35.1	30.5	19.2	5.3	2.0	7.9
男	61	32.8	23.0	21.3	8.2	1.6	13.1
女	90	36.7	35.6	17.8	3.3	2.2	4.4
10歳代	6	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	37	37.8	24.3	27.0	0.0	2.7	8.1
30歳代	40	25.0	32.5	27.5	0.0	5.0	10.0
40歳代	67	40.3	28.4	11.9	11.9	0.0	7.5
ひとり暮らし	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0
夫婦	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自分と親の二世帯	42	38.1	21.4	19.0	4.8	2.4	14.3
自分と子どもの二世帯	47	48.9	27.7	12.8	2.1	2.1	6.4
自分と親と子どもの三世帯	20	20.0	35.0	20.0	20.0	0.0	5.0
自分と親と祖父母の三世帯	26	23.1	30.8	38.5	0.0	3.8	3.8
その他	9	33.3	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0

Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 各年齢層で重要度が高くなっており、世帯別では夫婦世帯では全世帯が重要と回答しています。

問3-B.5：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「今後の重要度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／住みたくなる居住環境の整備（SA）

クロス分析結果

	回答数	重要だと思う	どちらかといえば、重要	どちらともいえない	どちらかといえば、重要でない	重要でない	無回答
全体	151	47.7	31.1	13.2	0.7	0.0	7.3
男	61	41.0	29.5	14.8	1.6	0.0	13.1
女	90	52.2	32.2	12.2	0.0	0.0	3.3
10歳代	6	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0
20歳代	37	45.9	29.7	16.2	2.7	0.0	5.4
30歳代	40	47.5	32.5	10.0	0.0	0.0	10.0
40歳代	67	50.7	28.4	13.4	0.0	0.0	7.5
ひとり暮らし	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
夫婦	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自分と親の二世帯	42	47.6	26.2	14.3	0.0	0.0	11.9
自分と子どもの二世帯	47	63.8	23.4	6.4	0.0	0.0	6.4
自分と親と子どもの三世帯	20	35.0	45.0	15.0	0.0	0.0	5.0
自分と親と祖父母の三世帯	26	26.9	38.5	26.9	3.8	0.0	3.8
その他	9	55.6	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0

Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 各年齢層で重要度が高くなっており、世帯別では子供がいる世帯を中心に重要と回答しています。

問3-B.8：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「今後の重要度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／安心して子どもが産産・子育てできる環境の構築（SA）

クロス分析結果

	回答数	重要だと思う	どちらかといえば、重要	どちらともいえない	どちらかといえば、重要でない	重要でない	無回答
全体	151	60.9	19.2	13.2	0.0	0.0	6.6
男	61	52.5	21.3	14.8	0.0	0.0	11.5
女	90	66.7	17.8	12.2	0.0	0.0	3.3
10歳代	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
20歳代	37	54.1	21.6	18.9	0.0	0.0	5.4
30歳代	40	72.5	7.5	12.5	0.0	0.0	7.5
40歳代	67	58.2	23.9	10.4	0.0	0.0	7.5
ひとり暮らし	4	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0
夫婦	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
自分と親の二世帯	42	54.8	11.9	21.4	0.0	0.0	11.9
自分と子どもの二世帯	47	80.9	12.8	0.0	0.0	0.0	6.4
自分と親と子どもの三世帯	20	50.0	25.0	20.0	0.0	0.0	5.0
自分と親と祖父母の三世帯	26	42.3	30.8	26.9	0.0	0.0	0.0
その他	9	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0

Ⅱ 調査結果

神河町の取組みについて

- 各年齢層で重要度が高くなっていますが、10歳代では重要ではないとする回答もみられました。

問3-B.9：総合戦略のこれまでの取組みに対する意見をお聞きます。以下に記載された総合戦略の各取組みについて、「今後の重要度」をそれぞれ最も近いものに1つずつ○をつけてください。／ふるさと神河との交流機会の充足（SA）

クロス分析結果

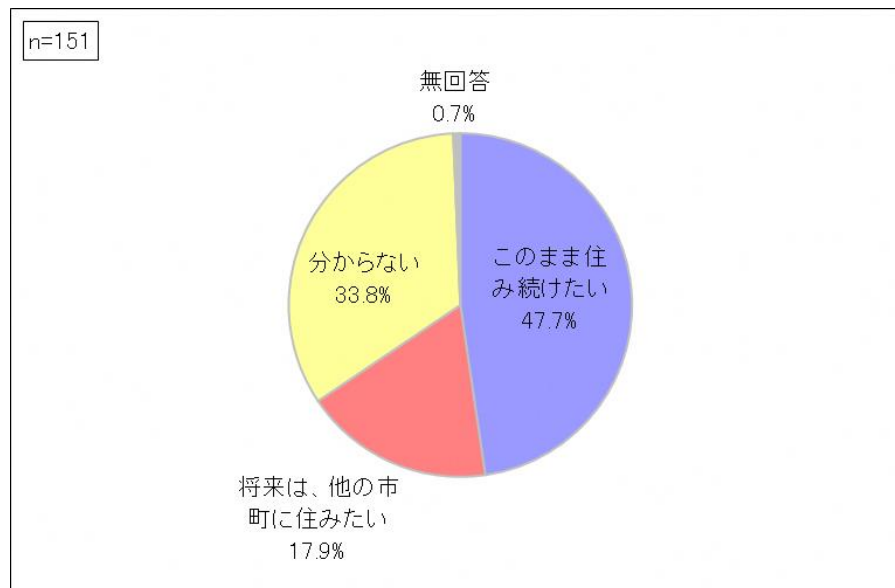
	回答数	重要だと思う	どちらかといえば、重要	どちらともいえない	どちらかといえば、重要でない	重要でない	無回答
全体	151	17.2	18.5	48.3	4.6	2.0	9.3
男	61	16.4	14.8	49.2	3.3	3.3	13.1
女	90	17.8	21.1	47.8	5.6	1.1	6.7
10歳代	6	0.0	33.3	50.0	0.0	16.7	0.0
20歳代	37	18.9	10.8	59.5	2.7	2.7	5.4
30歳代	40	17.5	12.5	47.5	7.5	0.0	15.0
40歳代	67	17.9	25.4	41.8	4.5	1.5	9.0
ひとり暮らし	4	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0
夫婦	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
自分と親の二世帯	42	11.9	11.9	50.0	9.5	4.8	11.9
自分と子どもの二世帯	47	27.7	27.7	27.7	6.4	0.0	10.6
自分と親と子どもの三世帯	20	5.0	15.0	65.0	0.0	0.0	15.0
自分と親と祖父母の三世帯	26	11.5	15.4	69.2	0.0	3.8	0.0
その他	9	44.4	11.1	44.4	0.0	0.0	0.0

Ⅱ 調査結果

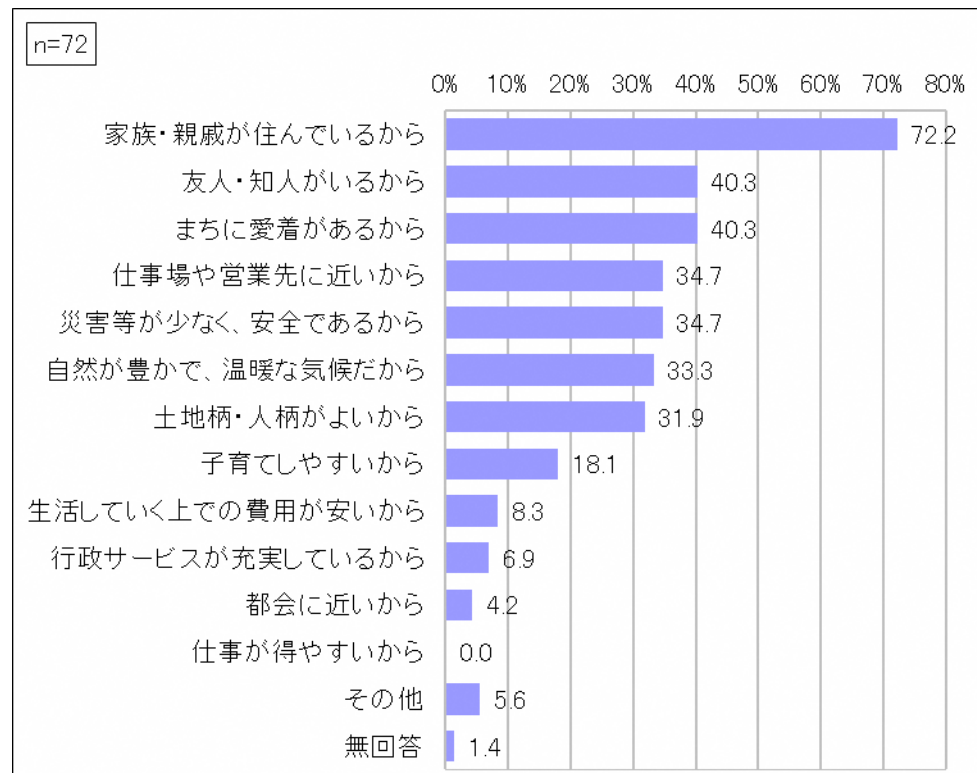
今後の居留意向について

- 今後の定住意向について約半数が「このまま住み続けたい」と回答しています。
- このまま住み続けたい理由として、「家族・親戚が住んでいるから」や「まちに愛着があるから」、「友人・知人がいるから」など、人間関係やまちに対する思いが多くなっています。

問4-1：あなたは、将来も神河町に住み続けたいですか。
(SA)



問4-2：【問4-1で「このまま住み続けたい」と回答の方】
今後も住み続けたい理由は何ですか。（MA）



Ⅱ 調査結果

今後の居留意向について

- 学生で、「将来はほかの市町村に住みたい」と回答している割合が多くなっています。

問4-1：あなたは、将来も神河町に住み続けたいですか。
(SA)

職業別集計結果(%)

	回答数	このまま住 み続けた い	将来は、 他の市町 に住みた い	分からない	無回答
全体	151	47.7	17.9	33.8	0.7
農林業	1	0.0	100.0	0.0	0.0
自営業・自由業	6	66.7	16.7	16.7	0.0
会社員、会社役員	52	48.1	11.5	38.5	1.9
公務員・団体職員	26	61.5	7.7	30.8	0.0
パート・アルバイト	31	58.1	19.4	22.6	0.0
専業主婦・主夫	8	37.5	12.5	50.0	0.0
学生	15	13.3	40.0	46.7	0.0
無職	5	20.0	20.0	60.0	0.0
その他	6	50.0	33.3	16.7	0.0

Ⅱ 調査結果

今後の居住意向について

- 家を建てた、住み慣れたという意見が多くみられました。

問4-2_13FA：今後も住み続けたい理由は何ですか。／その他
自由回答

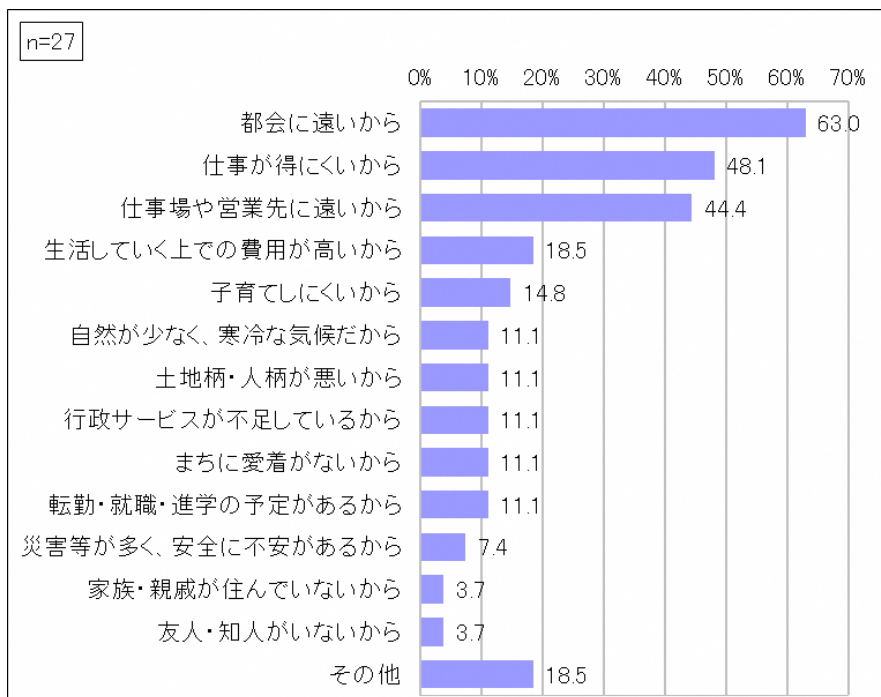
家を建てたので。
家を建てたから。
住みなれてるから

Ⅱ 調査結果

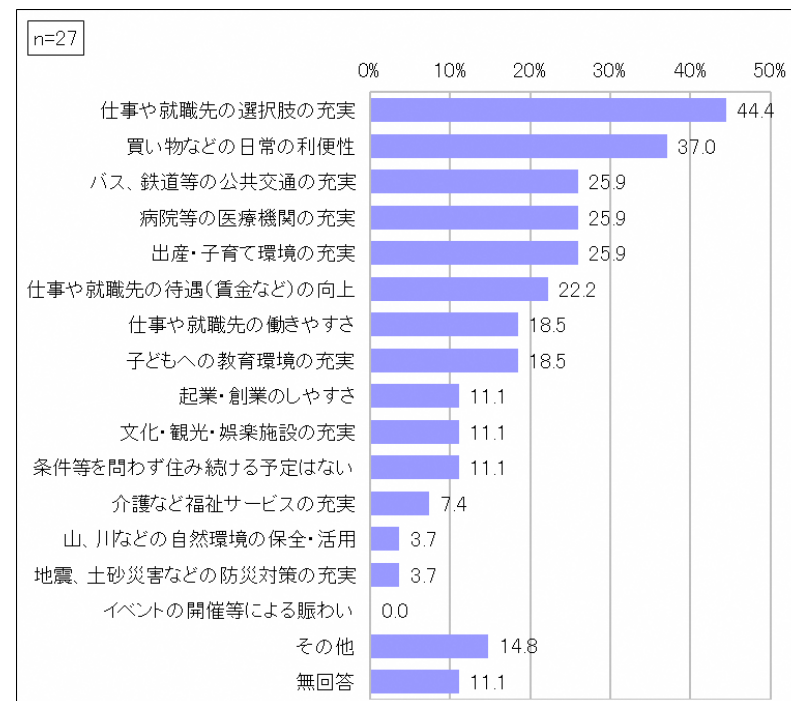
今後の居留意向について

- 将来他の市町に住みたい理由として、「都会に遠いから」や「仕事ที่ได้にくいから」など、利便性や経済的な理由が多く挙げられました。
- また、今後も住み続ける条件においても、「仕事や就職先の選択肢の充実」や「買い物などの日常の利便性」など、利便性や経済的な理由が多く挙げられました。

問4-3：【問4-1で「将来は、他の市町に住みたい」と回答の方】
今後、住み続けたいとは思わない理由は何ですか。（MA）



問4-4：【問4-1で「将来は、他の市町に住みたい」と回答の方】
今後も神河町に住み続けるためには、どのような条件や環境を整える必要があると思いますか。（3つ以内）（MA）



Ⅱ 調査結果

今後の居住意向について

- 今後、住み続けたいとは思わない理由として、交通の利便性が悪く、車が手放せないという意見が見られました。
- また、神河町に住み続けるための条件等については、消防団や地域活動の見直し等がみられました。

問4-3_14FA：今後、住み続けたいとは思わない理由は何ですか。／その他

自由回答

公共の交通機関が不十分な為、車に乗れなくなった時を思うと、利便性のいい所へ住みたいと思う。

交通の便、生活上の利便性が悪いから。

問4-4_16FA：今後も神河町に住み続けるためには、どのような条件や環境を整える必要があると思いますか。／その他

自由回答

寒い。

価値観の多様性。

消防団や地域活動の見直し。

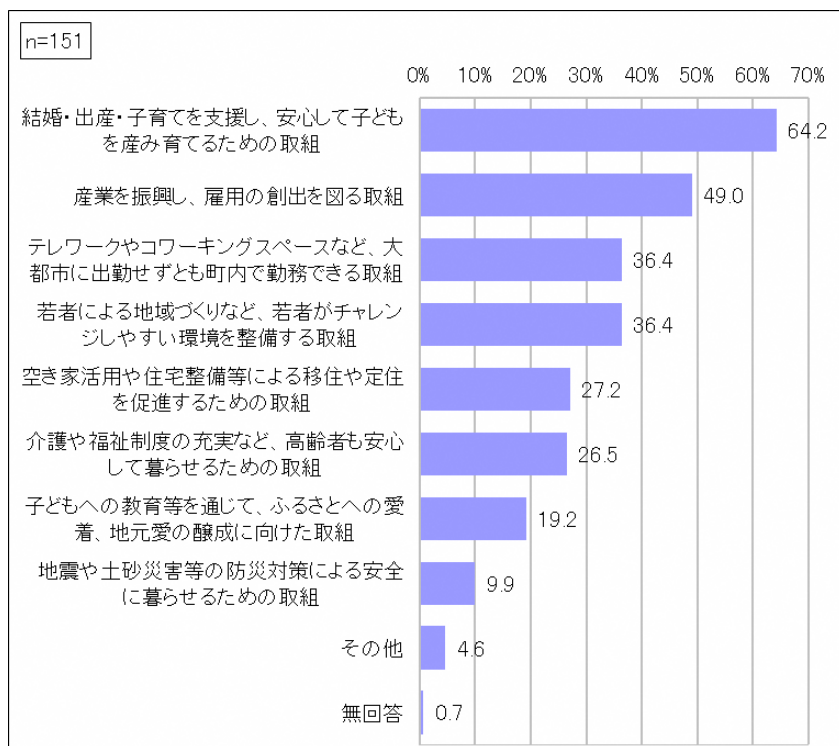
勤務先より遠方の為

Ⅱ 調査結果

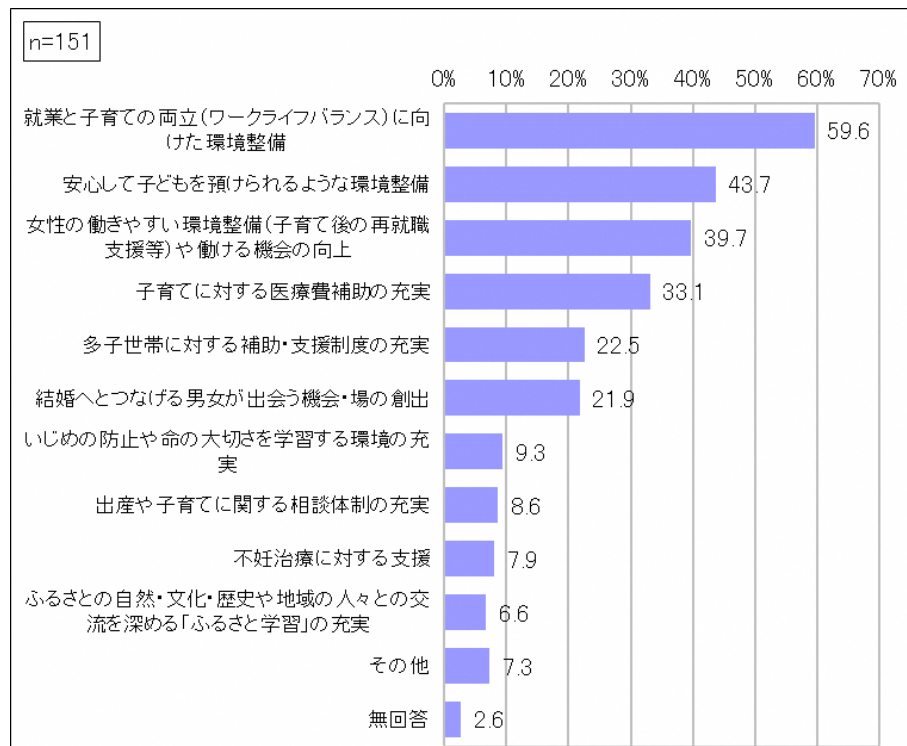
持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- 人口減少に歯止めをかけ、本町の持続ある発展を目指す取組みとして、「結婚・出産・子育てを支援し、安心して子どもを産み育てるための取組」や「産業を振興し、雇用の創出を図る取組」が多く挙げられました。
- 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、本町の少子化に歯止めをかける取組みとして、「就業と子育ての両立（ワークライフバランス）に向けた環境整備」や「安心して子どもを預けられるような環境整備」多く挙げられました。

問5-1：人口減少に歯止めをかけ、本町の持続ある発展を目指すためには、どのような取組が必要とお考えですか。
（3つ以内） （MA）



問5-2：結婚・出産・子育ての希望をかなえ、本町の少子化に歯止めをかけるためには、どのような取組が必要とお考えですか。
（3つ以内） （MA）



Ⅱ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- 地域での行事が多く、町外から来た人が馴染めないという意見がありましたが、逆に交流の機会が欲しいという意見もありました。
- 都市部へのアクセス改善を求める声がありました。

問5-1_9FA：人口減少に歯止めをかけ、本町の持続ある発展を目指すためには、どのような取組が必要とお考えですか。
(3つ以内) / その他

自由回答

(地域交流関係抜粋)

行事が多すぎる為。消防団の撤廃、村が嫌になる原因。
多世代の人と人々が深く繋がれるコミュニティの場をつくる。この地に愛着をもてる取組が必要と思う。
消防や地域に住んでいるとしなければいけないことがあり(都会ではない)、なくしていったらどうか。都会(町外)から来た人が生活になじめない。

(アクセス関連抜粋)

はやりの店舗がない。大学など通えず出て行くと帰らない。
交通(特にJR)の本数増やすなど充実させて、都市部へアクセスしやすくする取組み。(ex.マイカー補助など)

Ⅱ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- 産婦人科の設置を求める声が多くありました。
- 生活しやすい街づくりや、将来Uターンを考えている若者への配慮を求める声がありました。

問5-2_11FA：結婚・出産・子育ての希望をかなえ、本町の少子化に歯止めをかけるためには、どのような取組が必要とお考えですか。（3つ以内）／その他

自由回答

（医療関連抜粋）

神河町で出産できる事、できるようにしてほしい。
産婦人科がないのであれば、助産院や助産師さん
が神河町内に居てくれたらと思う。
産院の確保

（まちづくり関連抜粋）

実家の田んぼに家を建てて帰ってきたい若者に簡単に
許可を。
地域の慣習・伝統行事などの見直し、意識改革。
将来を考えた時に、高齢になっても買い物、病院などに
すぐ行ける交通手段があり、生活しやすい町づくり。※神
河町を出ていく人、福崎、姫路に住む人は自分の将来、
生活しやすいように、便利の良い地域へ行ってしまう→
家族で引っ越ししてしまう、子供が減る。
神河町に住みたいと思わないと（子育て世代）、人口も増
えないし、子供も増えない。
障がい者理解と社会参加の充実。

Ⅱ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- ・ 神河町の特徴を生かせるような企業の誘致を期待する声が多くありました。

問5-3：神河町にしごとをつくり雇用を促進するには、どうすればよいと思われますか。

自由回答

（企業誘致関連抜粋）

・中山間地に適した産業誘致。（馬路村etc.）

神河町周辺企業との連携、雇用機会の増加。

企業誘致できればと思います。もし自分に小さな子どもがいたらと考えると、自宅勤務可能な仕事（内職や事務など）の事務所が近ければいいなと思います。

企業団地の活性化が必要。法人税減税による招致策に頼ることなく、豊かな資源（水、空気など）を活かせるPRをお願いしたい。どんな企業でもいいのではなく、神河町の豊かな自然を守ることや神河町のために頑張ることのできる企業を誘致してほしい。

自然を利用出来る企業にきてもらいたい。（モンベルなど）

工業団地を作り、企業が進出できる様に整備してほしい。HP等みているが、会社などを建設できる土地がないと思われる。ITもいいと思うが、大勢の雇用を促進するには、大きな工場が必要。

播但道路添い（付近）にコストコorIKEAなど駐車場が大きいところが必要な企業を誘致！（利用者はヨーデルの森の入場割引、せせらぎの湯の割引など、をセットする）来客が増えれば活気が出る、近くの飲食店も増える。若い人がくれば若い人向けの店も増える？

Ⅱ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- 病院・福祉に関連した雇用を期待する声がありました。
- 雇用に関してより広域的に考え、神河町以外の地域と連携して促進してほしいという意見がありました。

問5-3：神河町にしごとをつくり雇用を促進するには、どうすればよいと思われますか。

自由回答

（福祉関連抜粋）

病院のある町なので“福祉のまち”で… 福祉に関する企業の誘致。医療、福祉、介護のお仕事での求人増。
老人介護センター等の充実しかありません。
お金を観光に入れるのではなく、子育て・介護・福祉制度へ入れる。
ただ雇用を促進するためではダメ。ワーキングプアにならないように家族を作って、増えても養っていけるような給料のしごとをつくる。例えば病院・福祉関係の仕事の事業所をふやす。

（他地域との交流関連抜粋）

町内のみ、町内のみだけの行き来や循環に止まらないよう、人も経済も出会って、入り混じっていく潤滑油の役割の部分が、今よりもっと充実していけば希望が広がるように感じます。
人口減少はやむを得ないのだから、減少した後を想定して動く必要があると思う。雇用促進についても、神河町だけで考えるのではなく、ある程度広域で、何の機能が必要かを考える時期にきていると思う。農業等も。（例えば中播の圏域等）
今の取り組み、とても良いと思います。町内では取り組みについてよく目にしますが、町外に向けて発信はしていますか？ 町外の人にも目にとまってもらわないと、良い取り組みなのに無駄になってしまいます。
近隣の福崎・姫路・朝来で就労できる環境であればよい。行政で（町内での）しごと雇用を創生、促進を進める必要はない。→住民サービスに特化してもらいたい。起業的な活動をして失敗の責任を問われないから。（他人事、理想を求めすぎている）

Ⅱ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- 若者の意見に耳を傾け、働きやすい環境を作ってほしいという意見がありました。
- 若者の起業を支援するためのサポートや情報提供をしてほしいという意見がありました。

問5-3：神河町にしごとをつくり雇用を促進するには、どうすればよいと思われますか。

自由回答

（若者関連抜粋）

これから働こうとする若者にも、もっと意見を聞いてみる。（どの様な仕事につきたいか。）

若人の働きやすい環境作り。

大規模な農業と法人化で若者が参入しやすく、安定収入を得られるしくみ。地元野菜を使った農家レストランと道の駅。

農業のビジネス化を進め、若者が働きやすい環境をつくる。

（起業関連抜粋）

企業したい人へのサポート。土地、建物、準備金など。※「町内の人を雇用する」という条件などを付けるなど。

地域の特性を利用した起業を興すために、成功しているモデル地域や専門のアドバイザー等から意見をもらい、住民と共に活動すべき。

若者の新規起業に向け、安くテナントを貸し出すことや、企業説明会等だけでなく、自社の製品の紹介も兼ねた、展示会の開催を行うと良いと思う。

Ⅱ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- 多様な働き方を受け入れ、ワークライフバランスが取れた職場が欲しいという意見があり、また神河町の資産を活用して新しい雇用を生み出してほしいという声もありました。

問5-3：神河町にしごとをつくり雇用を促進するには、どうすればよいと思われますか。

自由回答

（働き方改革関連抜粋）

インターネット環境の強化→大人世代にもデジタル教育を→ライフワークバランス、雇用の振り分け→多様な働き方が認められる→雇用機会の増
まず今、神河町にある企業、行政etcがただ働いているだけでなく、より働きがいのある職場になってほしいと思います。そのために必要なのは、従業員の満足度を上げて、生き生きと仕事をしてほしい。利益を求め、1人の働く時間を長くするとかではなく、多様な勤務体制を受け入れ、核家族や母子家庭、三世帯の家庭などその人に合ったいろんな勤務ができるようにしてほしいと思います。働きたくてもパートか正社員しかないのは幅が広がらないなと思います。ワークライフバランスのとれた働く場 欲しいです。

（その他）

町内には廃校、休校、休園、小学校跡地など多数あるので、こういった場所を今注目されているプレーパークにしては？と思う。地域住民が主体となりながら、そこへ“プレーワーカー”という専門職の人員も配置することにより、安心して多世代が交流できる場になるし、“プレーワーカー”を神河町の職員として採用できるのであれば、他地域からの誘致、移住、定住につながるのでは？と思う。

Ⅱ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- ・ 姫路など中距離の移動に対して補助か対策が欲しいという意見がありました。特に播但道の料金や播但線の混雑が移動のネックになっているようでした。
- ・ 町内の短距離の移動も、バスの不便さなどの不満がみられました。
- ・ 播但道の通行料金の助成を町内出身者に限定するという内容の案が議会にあり、そのような補助を町外の人にも開放することでより移住が促進されるのではないかという意見がありました。

問5-4：都市部から神河町へ移住してもらうには、どうすればよいと思われますか。

自由回答

(交通関連抜粋)

交通機関の整備。(車を持っていない人へのレンタル)、これから免許をとる人へ(町民の若い人も)助成金。

例えば勤務地が姫路の方であれば、播但線を利用したい人も居るか。それには通勤通学時間の列車の両が少なく、満員だとか、昼間は1時間に1本とかの不便さがネックになっているのではないかと思います。子供にもこんな不便な所に住ませたくないと思ってしまうかと。

町内の移動がしやすくなればよいと思います。駅から家へのバス移動がしにくいので。

神河町から数十km通勤にかかる者に対し、町から交通費を出してほしい。そうすれば、少し離れた所からでも住んで通うようになると思う。とくに、神河町の中でも山奥に住んでいる家族に対し、額をかえた何かしてほしい。

播但道を利用して通勤する人に対し、通行料金の助成をする案が出ていた旨の記事を広報か議会だよりで拝見しました。対象者を町内出身者に限定することで、町の予算を抑えられる、といった内容も書かれていたかと思います。この案では、移住者は長く神河町に住んだとしても、この制度の恩恵が受けられないですし、結局、地元民しか大切に扱ってくれないのだな、と疎外感を感じます。年齢や神河町に移住した年数など、移住者・地元民を分け隔てることなく対象者を限定する方法はいくらでもあると思います。この制度の案、その他の制度でも同じことが言えますが、地元民だけが得をするような考えがあるようでは、移住者は来ないと思います。

①高齢者には、車にのらなくても(免許返納しても)大丈夫と思わせるだけの支援をする。(町内の買い物等の送迎を頼めるシステム。)例えば月に3回まではタダで送迎。それ以上はタクシーの1/2ぐらいの料金②高校生までの医療費無料をアピール。③意外に交通の便がいいことをアピール。(高速、電車)(新野、寺前の辺りをもっと開発する！)

買物する店(主に、スーパーなど)への交通の便をととのえる。また、子どもの多い家庭などに対する支援や、家などは、古民家を再生し利用しやすくする。

Ⅱ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- 都市にはない、自然を生かした魅力を発信すべきだという意見が多くありました。山や海、スキーなどが挙げられています。
- 自然と触れ合う手段についての意見もありました。具体的には、神河町の自然や暮らしにかかわる施設を見学できるツアーの実施や、神河町でしか学べない内容が学べる大学を作る、などでした。

問5-4：都市部から神河町へ移住してもらうには、どうすればよいと思われますか。

自由回答

（自然関連抜粋）

コワーキング、テレワーク等、都市ではなくても出来る事を、もっとアピールし、また環境の良い面も同時にアピールしてはどうかと思う。神戸、大阪とも行きやすいことや、休日には海、山など自然にふれあえる場が近い事など！

やっぱり、神河の魅力を出す。観光客に来てもらい、色んな楽しみや自然、便利さが都市ほどではないが、神河にもあることを伝える（施設や身近な住みやすい環境）。加えて、子育てや結婚をするにあたりの施設などにオープンキャンパスみたいに見学ツアーをして、保育園、幼稚園、学校、老人ホーム、児童館など見てもらい、肌で感じとってもらう。施設込みの入場料（？）ヨーデルやピノキオ、プール、学校、空き家を利用した喫茶店やワークスペース、スキー場、ホテルをまわるツアー。

スキー場の町民無料化または割引。IT企業の誘致。

私自身、町外から嫁いで来た身ですが、神河町にあって都市部にはないものは、やはり豊かな自然、恵まれた環境だと思うので、空き家をもっと活用すべきと思う。売家は多いが、貸家は少ないので、マンションに住む値段で、例えば一軒家、畑付き、柚の木付き等のオプションがあったら、とても惹かれると思う。

都市部のメリットは便利が良い。都市部のデメリットは自然が少ない。→神河でしか学べない事ができる大学、支部を作る。→オオサンショウウオ、動物生態、木材を使った建物。寮・下宿生活→そのまま移住。

Ⅱ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- 田舎への移住のメリットを発信する必要があるという意見が多く挙げられていました。具体的には、テレビやインターネットを使った広報や、移住体験のツアーやお試し移住などの体験型のPRをするべきだといった意見もありました。
- 子どもを持つ世代へのアピールのためには、子育ての施設整備が必要であるという意見もありました。

問5-4：都市部から神河町へ移住してもらうには、どうすればよいと思われますか。

自由回答

（魅力の発信関連抜粋）

都会暮らしを経験した人に田舎へ移住してもらい、比較した良さを発信していく。いきなり若者が田舎にというのは難しいだろう。もしくは、圧倒的に給料が高いなどの、誰でも感じる魅力。

シングルマザー受け入れなど、さまざまな取り組みをされているが、結果はどうなの？と疑問が残ります。それよりもっと「Uターン」に力を入れてほしい。もともと地方で生まれ育った人が、再び自分の出身地に戻って働きたいと思うまちづくりを取り組んでほしい。

まずは知ってもらい、足を運んでもらう。そして、その空気を直に感じ、神河の人と出逢い、その温かさを何度も何度も感じてもらえれば、気持ちは自然とどんどん惹かれていくと思います。

魅力のある空き家活用した物件をつくる。都市部の移住に興味がある人に神河町をPRし、存在を知ってもらう。

テレビやインターネットで、神河町の事を知ってもらう。

日帰り、1泊2日等の短期間での移住体験（ツアー）。移住後の生活がより具体的にイメージできそうだから。

二段階移住や、おためし移住等で神河を知ってもらってから移住してもらうと失敗が少なくて良い。

子供をもつ世代へのアピール→補助などもそうだが、環境がない…（公園の一つもない）

Ⅱ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- ・ 移住するためには住居の用意が不可欠だという意見が多くありました。空き家バンクなどを活用した情報発信をすることで空き家の有効活用を目指す内容や、新規にマンションや一戸建てを提供すべきだという意見もありました。

問5-4：都市部から神河町へ移住してもらうには、どうすればよいと思われますか。

自由回答

（住居関連抜粋）

若者の移住を重点に考える。古民家再生より、新築のマンション、一戸建てを提供。
幼稚園・保育園のすぐ近くに、世帯ごと引っ越せる大きさのアパートあるいはマンションを建てる。
となりの朝来市は、「住みたい田舎第1位」だそうです。朝来市と神河町の違いは何なのでしょう？ 家と仕事がないと、移住にはなかなか踏み切れないと思います。※家と仕事セットに斡旋する。
空き家を町が買い上げてリノベーションし、将来的な移住を目的とした、体験型居住などを積極的にする。短期的完全移住を目指すより、週末だけの移住生活等、長期的な視野で取り組む。
若者定住のため、空き家や空いている土地の情報発信を行う。空き家バンクの活用。

（雇用関連抜粋）

・企業の誘致。・スキー場など奇抜な観光等の施策ではなく、もっと地に足のついた、住民によりそった形での公共の場等（公園等）の建設、一部ではなく全体に恩恵があるような事にお金を使っていけばよいのでは。
雇用が確保でき、出産から介護までを安心して行える環境を整える。

Ⅱ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- ・ 町内の産婦人科を復活させるべきだという意見が非常に多くありました。
- ・ 保育の制度をより柔軟に運用してほしいという意見が多く、より子育てと仕事の両立をしやすくしてほしいという内容が多く見られました。

問5-5：神河町において、若い世代の結婚・出産・子育てを進めるには、どうすればよいと思われますか。

自由回答

（医療関連抜粋）

近くの病院で出産できるようにする。小児科の入院を可能にする。
金銭面の補助、産科の復活。
神崎病院の産科がなくなってしまったので、せめて助産院をつくってほしい。もしくは、専属の助産師さんを。愛知県にある映画にもなり、有名な吉村医院のような助産院があったらと思う。神河町の豊かな自然の中で、自然なお産、幸せなお産ができるようになったら素晴らしいと思う。

（保育関連抜粋）

・実父母、親族以外に安心して預かってもらえる制度と同時に、町内で親世代と祖父母世代が居住すればメリットのある仕組み。（夫、妻いずれかの実家が町内にあれば、実家に補助など）・子育て世代のみでなく、祖父母世代にも支援。（子育てをサポートして担っている）
保育所への入所のしやすさが必要。リフレッシュもかねて、働いていない人も一時預かりが利用できるなど、預けたくても預けられない人がたくさんいる。
・子育て環境がよくない。仕事をしている親が多いにもかかわらず、園が18時すぎにしまってしまう。・寺前保育園（0～3才）と各園（4・5才）とつながった保育が出来ず、劣っている。公立のこども園を創り、つながりある保育をしないといけない。

Ⅱ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- 町が主導で出会いの場を作るべきだという意見が見られました。また、現在のイベントもより頻度を増やしてはどうかという意見もありました。
- 出会いのイベント内容について、神河町にしかない資源を活用した内容を期待する声もありました。

問5-5：神河町において、若い世代の結婚・出産・子育てを進めるには、どうすればよいと思われますか。

自由回答

（出会い関連抜粋）

結婚においては出会う機会をもっと増やす。キャンプやスポーツ、またはそういう事が苦手な人にも参加できる様に、自然を觀賞したり、読書等を含んだイベントなど行なってほしい。次につなげられる様に、参加した人達が楽しめるものを考えてほしい。出産においては、病院が遠くになった事で不安もあると思うので、手厚いケアをしてあげてほしい。

出会いの場を年1回ではなく、月2回はあったほうが良い。あと年齢とかも考え、20代が多いのであれば、20代グループで出会いの場を作る。

まずは結婚する事が一番なので、出会いの場を増やしていけばいいと思います。バスツアーとか泊まりでお見合いパーティーみたいな事もしたらいいと思います。

（その他）

田舎だからこそ出来ること、田舎でないと出来ないことを企画する。（小学校でのお泊まり会を復活させる！キャンプファイヤー、肝試し、星空ウォークなど、とても良かった。周囲に気兼ねせず、さわりでもOKな長所をいかして欲しい。）→ニュースでとりあげてもらう（TV、新聞以外にSNSでも。）学校の先生だけでなく、大学に呼びかけて学生ボランティアに来てもらい、出会いの場にしてもらっては？

Ⅱ 調査結果

持続ある発展に向けた神河町のまちづくりについて

- ・ 観光振興よりも、長く住んでいる住民を大切にし、また今の住民を転出させないための施策を期待する声が非常に多く見られました。
- ・ 神河町の良さをもっと県外にPRすべきだという意見も多く見られました。

問5-6：神河町のまちづくりに関して、ご意見やアイデアがございましたら、自由にご記入ください。

自由回答

（今の住民を大切にしてほしい）

・移住も大切ですが… 若い世代が転出しない、今の子育て世代が神河町に住み続けたい施策を。『教育』と『福祉』も「今の次世代が転出しないために」大切だと思います。（観光・移住支援と同時に、今の住民を転出しないために支援するのが急務かと。）・播但連絡道の高速料金の補助とか。（通勤圏を広くできる。）・中高年の婚活。（シングルの方は、寿命が短いとか…（笑） 一番の社会保障かと。）・同窓会のフォロー 30才式、40才式、成人式だけでなく。（出会いの機会（結婚と仕事での人脈も））

将来や新しいものを取り入れることに力を注ぐことも大切ですが、ずっと長く暮らしている人々を決して軽視されることのないような施策にとりこんで頂きたいと切に願います。

（広報関連抜粋）

神河に来て良かったと思うことは、子育ての教室があったり、保健師さんに相談しやすかったり、医療費が高校まで無料なところ です。町営住宅など若者の受け入れも手厚いので、もっとそのアピールを県外や隣町の人も知れたら、もっと有名になって魅力ある町になると思います。